

ThreeBond

2004. 1. 23
株式会社スリーボンド

技術資料

ThreeBond 3911D ガスケットリムーバー

1. 概要

ThreeBond 3911Dは固形ガスケットや液状ガスケットをはがすことを目的とした非塩素系のガスケットリムーバーです。

(以下ThreeBond 3911DをTB3911Dと略します)

2. 特長

- ①塩素系溶剤を含有していません。
- ②剥離性に優れています。

3. 用途

- ①固形、液状ガスケットの除去
- ②汚れの除去

4. 性状

表－1

項 目	単位	性 状	試験方法	備 考
外 観	－	透明	3TS-201-01	
粘 度	mPa・s	130	3TS-210-01	BL、No. 2、60rpm
比 重	－	0.85	3TS-213-01	
加熱残分	%	2.7	3TS-217-93	

5. 特性

5.1 試験結果

表－2

項目	結果
1) 液状ガスケット ThreeBond 1102 ThreeBond 1104 ThreeBond 1207C ThreeBond 1215	溶解 溶解 剥離 膨潤
2) ゴム NBR SBR CR NR	膨潤 膨潤 膨潤 膨潤
3) 金属 鋼板 アルミニウム 銅 真鍮	腐食なし 腐食なし 腐食なし 腐食なし

表－3

項目	結果
4) プラスチック アクリル樹脂 ポリカーボネート ABS樹脂 ポリスチロール 塩化ビニル樹脂 ポリアセタール 6-ナイロン ポリエチレン ポリプロピレン フェノール樹脂 メラミン樹脂	溶解 溶解 溶解 溶解 溶解 変化なし 変化なし 変化なし 変化なし 変化なし 変化なし 変化なし

5.2 試験方法

1) 液状ガスケットへの影響（表－2）

- ① 25×100×1mmの冷間圧延鋼板に各液状ガスケットを0.2～0.3mmの厚みで塗布する。
- ② 25℃×50%雰囲気下で24時間放置後、100℃×3h加熱したものを試験片とする。
- ③ 試験片にTB3911Dを塗布する。
- ④ 5分後の試験片の状態を確認する。

2) ゴムに対する影響（表－2）

- ① 各試験片にTB3911Dを塗布する。
- ② 5分後の試験片の状態を確認する。

3) 金属に対する影響（表－2）

- ① 各試験片にTB3911Dを塗布する。
- ② 24時間後の試験片の状態を確認する。

4) プラスチックに対する影響（表－3）

- ① 各試験片にTB3911Dを塗布する。
- ② 1時間後の試験片の状態を確認する。

6. 使用 方 法

- ①使用前に缶をよく振ってください。
- ②使用する箇所の形状に応じて通常のスプレーボタンとノズル付きボタンとを選択してください。
- ③ガasketトリムバーが付いてはいけない箇所には、あらかじめ新聞紙などでマスキングしてから使用してください。
- ④吹きつけ箇所から5～10cm離して適量をスプレーしてください。
- ⑤5～10分後、ガasketやパッキンが膨潤・軟化しますのでヘラなどではがしてください。一度ではがれない場合は繰り返しおこなってください。
- ⑥処理後は表面のカスなどをブラシやウェス等で拭き取ってください。
- ⑦使用後はノズルの穴づまりを防ぐため缶を逆さまにして空箱などに向け、2秒間スプレーしてください。

7. 使用 上 の 注 意

- ①上記用途以外使用しないでください。
- ②吸入・飲用不可 人体に害があるので、吸引したり飲んだりしないでください。
- ③子供の手の届く所には置かないでください。
- ④人体に向けて使用しないでください。
- ⑤吸引すると害があるので、通気のよいところで使用してください。
- ⑥目や皮膚に付着すると炎症を起こすおそれがあるので、保護メガネ、保護手袋を使用してください。
- ⑦万一飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ、無理にはき出させないで、本品を持参の上、医療処置を受ける手配をしてください。
- ⑧誤って眼に入った場合は、直ちに水道水で15分以上洗眼し、医療処置を受ける手配をしてください。
- ⑨皮膚に付着した場合は、水又は石鹼水等でよく洗い流してください。
- ⑩使用中に気分が悪くなった場合は、使用を中止し、通気の良いところで安静にしてください。気分が回復しない場合は、医療処置を受ける手配をしてください。
- ⑪破裂するおそれがあるので、直射日光の当たるところや40℃以上の所、及び自動車内に置かないでください。
- ⑫シミになるおそれがありますので、衣服に付着しないように注意してください。
- ⑬ガスのみが噴射するのを防ぐため、スプレーボタンを上方にしてまっすぐたてて使用してください。
- ⑭塗装面、プラスチック類、ゴム類等を侵しますのでかからないように注意してください。
- ⑮5℃以下等の低温では粘性が低下し、液の保持力が低下します。できるだけ常温で使用してください。剥離機能に影響はございません。
- ⑯本表示に記載されていない危険有害性につきましてはMSDS（製品安全データシート）をお読みください。

8. 保 管 及 び 廃 棄 方 法

- ①保管の際は、直射日光の当たる所、40℃以上になる所や錆の発生しやすい水のかかりやすい所、湿気の多いところや凍結する所に置かないでください。
- ②廃棄の際は中身を使い切ってから、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨ててください。

9. 法規制

①消防法

第四類第一石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅱ ケトン系除去剤168ml 火気厳禁

②高圧ガス保安法

高圧ガス：DME

火気と高温に注意

③労働安全衛生法

第2種有機溶剤

メチルエチルケトン5～15%・テトラヒドロフラン25～35%・メタノール5～15%

10. 注意

工業用

(家庭用には使用しないでください。)

本製品をご使用になる前に以下の販売条件をご承諾のうえご使用ください。

①記載のデータ等の技術情報については、当社規定の試験方法による実験値でありますので正確性と完全性についての絶対的な保証はいたしかねます。ご使用される方は、本製品をご使用になる前に、用途、目的にかなっているかどうかを必ずご使用される方自身でご判断いただき、それに伴う全ての責任と危険をご負担ください。

保証の範囲は、明らかな不良品の交換のみとさせていただきます。

②本製品の誤った取扱いによる傷害または損害については責任を負いかねます。

③本書に記載されている以外の事項については、契約書によらない限り責任を負いかねます。